

ことり新聞

November
2021.11.9
Vol.103



北之園看護部長

認知症看護認定看護師 + 特定行為研修終了者、吉田看護師長の実践での活躍をご紹介します。重症の高齢患者受け入れが多くなり、求められるケアもより専門性を必要としています。これまで、吉田看護師長には、認知症ラウンドを通し、実践での指導をしていただいていた。

今回、期間限定ですが、院内出向のかたちで回りハ病棟への介入に比重を置いていただくことにしました。他にも緩和ケア認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師がいますので、カンファレンス時の参加依頼も大歓迎です。過去のことり新聞に認定看護師の情報を記載しています。ご活用下さい。



11月研修



- 2日 新人研修 感染対策
- 5日 臨床倫理事例検討会
- 10・13日 法人卒後2年目「メンバーが実践するマネジメントとリーダーシップの基礎知識」
- 19日 法人認知症看護
- 20日 法人管理者のためのハラスメント研修
- 24日 退院支援における看護師の役割
- 25日 新人研修フィジカルアセスメント 脳神経

11月行事

- 10/25～12日 大阪大学実習
- 9～26日 大阪青山大学実習
- 9～12日 職員インフルエンザ ワクチン予防接種
- 22～12/10日 大阪医療看護専門学校実習
- 24日 医療安全対策地域連携評価
- 29日～12/17日 大阪大学 大阪青山大学実習

野口看護部長補佐



10月1日からお世話になっています。私は医療法人協和会に入職し、一般急性期、老健、緩和ケア病棟、回りハ病棟を経験してきました。どこでも学びはあり、成長させてもらえたと感謝しています。

以前に流行ったドラマの中で、「どこで働くかじゃない、どのように働くかだ。」と主人公が言っていました。この言葉は私の心に刺さりました。確かに、看護職もどこで働いても「患者さんの生命力の消耗を最小にする」本質には変わりありません。

当院は緩和ケア病棟・回りハ病棟・一般障害者病棟とそれぞれ専門性のある病棟が集まった病院です。忙しい日々の業務の中で、皆さんが「どのように働いているのか」を知るのを楽しみにしています。人の話を聞くことが大好きなので、皆さんの専門性とこだわりを教えてくださいたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

看護協会の研修に参加して

東4階 看護師

9月13日大阪府看護協会主催の「看護職のための教育学～リフレクションを活用して～」という研修に1日参加させて頂きました。



今回の研修で学んだことは、指導を行うにあたり「教えた＝学びにはならない」『すぐに教えたことが成果として現れない』『教えないと気づくこともできない』『教育することで自分自身の成長へとつながる』ということです。



今回の研修では、教育から『共育』への漢字にして共に成長していかなくてはいけないと思いました。指導・教育を行っていくには、心に余裕がないとまなざしが自分（視点）になります。視点がスタッフに向くように自分の心が豊かな教育方法を育てていく機会を創っていかなくてはいけないことを改めて深く学びました。

トロミサーバー【設置場所：3階デイルーム給茶機前】



10月よりトロミサーバーが設置されました。トロミ玄米茶【強・中・薄】・トロミ水【強・薄】があります。10月28日に各病棟代表者へ使用説明会を行っています。

9月 新規褥瘡発生 10 件

(10月褥瘡予防対策委員会)